

## 『耐震改修促進法』の改正に伴う建造物の高さ測定業務での レーザー距離計使用について

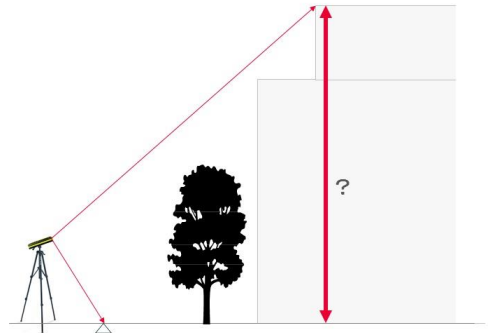
レーザー距離計とは、本体からレーザーを照射し、レーザーが当たったところまでの距離をワンボタンで測定する機器です。Leica DISTO™ D510 は、360° 傾斜センサーを搭載しているため、距離と傾斜角から、高さを間接的に求める機能があります。

### 1. 高さ プロファイル測定

右図のように、基準からの「高さ」と「水平距離」を測定できます。  
道路から建造物の高さを簡単に求めることができます。

測定手順:

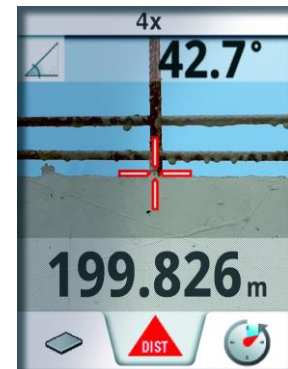
1. プロファイル測定モードを選択
2. 基準点を測定
3. 建物の最上部を狙い、測定



### 2. 屋外用 ファインダー搭載

屋外では、レーザードットが見えません。そのため、どこにレーザーが当たっているかが分からず、測定できません。

レーザー距離計 Leica DISTO™ D510は、カメラのように画像で対象物を確認できるよう、カラーファインダーを搭載しています。画面中央の十字印の中央に対象物を合わせ、測定ボタンを押すと、測定します。  
道路の縁石を狙って水平距離を測定すれば、かがむ必要なく道路幅が測定できます。

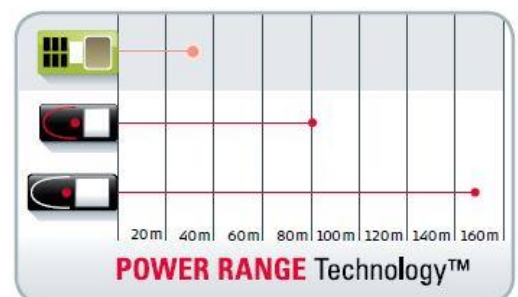


4倍までズームできるので、数10m離れた場所からでも、はっきりと対象物を捉えることができます。

### 3. 長距離測定モード (Power Range Technology™)

ターゲットプレートなしで、長距離測定が可能です。  
特殊な電子部品を改良して開発された技術です。

このモードを使うと、Leica DISTO™ D510 は日中でも最大約150m まで測定できます。



#### 4. 国際規格 ISO 取得 (レーザー距離計の精度に関するテスト要件を定めた基準)

レーザー距離計はこれまで、JIS規格のような基準がありませんでした。  
そのため、精度は各メーカーの自己基準にゆだねられて、製造・販売されています。

このISO規格は、2012年に定められたレーザー距離計の新しいスタンダードです。  
取得が厳しい規格で、右のISOロゴ入りレーザー距離計は、仕様通りの測定と精度が保証されます。Leica DISTO™ D510は、この基準をクリアした製品です。



#### 5. iPhone / iPad / Android 無償アプリ『Leica DISTO™ sketch』

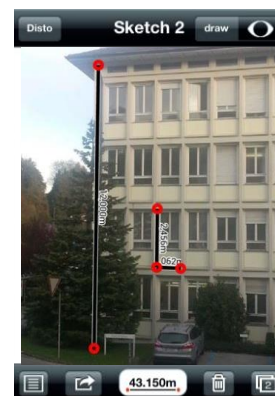
Bluetoothにより、iPhoneやiPad, 一部Android の専用アプリへ測定結果を転送・記録することができます。

測定と同時に、アプリ画面下に測定値が転送されます。  
測定する建物の写真を撮り、その上に測定値を表示することができるので、  
測定メモが簡単に作成できます。

アプリ使用の動画を、HPとYouTubeに掲載しております。

[http://www.leica-geosystems.co.jp/jp/Leica-DISTO-Apps\\_102581.htm](http://www.leica-geosystems.co.jp/jp/Leica-DISTO-Apps_102581.htm)  
<http://www.youtube.com/channel/UCymiGK9XL1rVF0vVUI2eWFQ>

対応機種: Leica DISTO™ D510  
対応デバイス: iPhone 4S / 5 / 5S / 5C  
iPad 3 / 4 / mini / iPod touch (第5世代)  
Android: Bluetooth 4.0以上搭載モデル



#### 6. 推奨セット

正確な測定には、三脚とアダプターを合わせてご利用いただくことをお奨めいたします。



レーザー距離計  
Leica DISTO™ D510



三脚 (カメラ用三脚で代用可)  
Leica TRI 70



アダプター  
Leica TA360

#### 7. 主な仕様

##### 仕様

標準測定公差	±1.0mm
標準測定範囲	0.05-200m
チルトセンサー	360°
保護等級	IP65 (耐流水・耐じんあい)
電源	単3アルカリ電池 × 2本
サイズ	143 × 58 × 29mm
測定値自動記憶	30件

##### 機能

距離測定	傾斜角測定
カラーファインダーモード	傾斜 デュアルチルト測定
高さ プロファイル測定	最小・最大値測定
高さ トラッキング	連続測定
水平距離測定	面積・体積測定
長距離測定モード	加算・減算
お気に入り登録機能	電卓機能